

# 中国残留日本人孤児たちの思い ③

前号からのつづき

高等学校社会問題研究会で高校生たちが、孤児の高見、赤澤、岡さんたちから聞いた話の感想文集です。鋭い視点が、私たちに課題を提起しています。

## 5. 彼らの帰国してからの生活JUNSI

- ・今も苦労している方に対して、日本政府にきちんと対応してもらいたい。
- ・日本に帰ってきても差別を受けて中国人と呼ばれ、金銭面でも苦しい生活をしていると話されていて、日本に永住帰国しただけでいいわけではなく、まだ解決できていない問題だということが分かった。

## 6. 政府に対して中国残留日本人孤児が思っていること

- ・普通の日本人のように暮らしていきたい。
- ・謝罪が目的でなく、残り少ない老後を補償する法律の成立が目的。

## 7. 高校生として思うこと、言いたいこと

- ・日本と中国は大きな溝が出来てしまっているのに、中国残留日本人孤児の方の話を聞くことで昔のことを理解して、日中関係が良くなるようにしたい。
- ・中国残留日本人孤児について知らないことが多いので、これからもこういった活動に参加したい。

- ・今回のような交流をすることが何より大事だと思う。
- ・戦争について、平和に

ついて、一緒に話あえる機会を持つことで心のつながりができ、日本生活で苦労している点に励みになればと思う。

- ・政府は残留孤児の方々の気持ちを考えて、しっかりと対応してほしい。
- ・これからも日本人がどう考え、どうしたらいいのかをみんなで話し合い、しっかりと取り組んでほしい。

- ・老後の問題についてももう一度しっかりと考え、中国残留日本人孤児の人たちが納得のいくような法律を作ってほしいと思う。
- ・二世、三世の問題もあるので、二世、三世を含めた日本語教室を開くべきだと思う。

## 8. まだ聞き足りないこと、調べ必要のあること(今後の課題)

- ・政府が中国残留日本人孤児の生活保障について対応をしようとしていないなどの問題について理解し、解決方法を考えたいことが必要なのではないかと思う。

- ・中国残留日本人孤児問題について、これからもっと見直していくことが日本の課題だと思う。
- ・中国残留日本人孤児問題を多くの人に知ってもらい、戦争の与える恐ろしさを伝えていくことが大切だと思います。

## 9. 聞き取りから感じたこと

- ・現実に本当に起きたことだと実感できました。



- ・中国残留日本人孤児に対する日本政府の対応の遅さや、意識の低さを勉強でき、良かった。
- ・高見さんたちの思いを知ることができ、とても大きい何かを得ることができた。
- ・高見さんと富岡さんでは立場や身分が中国残留日本人孤児であるという意識についての違いがかなりあるように見えた。それは2人の帰属意識の違いだと思う。

- ・中国では日本と違って精神的なストレスが溜まったり、養父母から暴行を受ける等がある。
- ・後に希望を託すために子供たちを置いて行った人たちの気持ちも分かるが、その行為によって残留孤児が生まれたのだと考えると、とても悲しくなる。(おわり)

中国では日本と違って精神的なストレスが溜まったり、養父母から暴行を受ける等がある。

### 《訂正とお詫び》

留学生学友会 春節パーティは1月28日(土)午後1時〜4時です。前号で午後6時開会とお知らせしましたが、前記の誤りでした。訂正してお詫びします。参加費は2千円です。

次回の新聞発送作業は

2月1日(水) 午後1時半、民主会館2階で行ないます。前回お手伝いくださいました方です。

## 受講者が初の留学・送別会へ参加を

日中・岡山の中国語講座で2年間学んだ前原宏美さんが、このほど高校を卒業して、中国の南京大学へ留学します。講座から正式に留学する人を送るのは初めて。初級の皆さんあげて送別の宴を設けることになりました。参加を希望する方はどうぞ。

とき：1月28日(土)午後6時〜とことろ・まんてんの星(駅前町・映画館となり)参加費・5000円前後

## 地球市民講座

# 「アジアの中の日本」編

## 受講者募集!

第1回 2月8日(水)

18:30〜20:00

テーマ『日本とモンゴル』ゴビ砂漠の発掘調査を通して見たもの』

講師 渡部真人 氏

(株)林原生物化学研究所古生物学研究センター所長付

JICAの海外ボランティアとしてモンゴルに派遣。ゴビ砂漠で恐竜化石発掘調査などをした経験をお持ちの渡部氏に、相撲など日本の文化がモンゴルで受け入れられている様子や日本への現地人の印象など、生活を通して見たこと、感じたことについてのお話。

第2回 2月15日(水)

18:30〜20:00

テーマ『日本と中国あれこれ』中国最新事情』

講師 彭 飛 氏

(京大外国語大学外国語学部教授)

1984年に来日、日本と中国の文化の比較研究が専門。京大フェイ博士の知れば知るほど「はてな?」のニッポン(祥伝社)などの著者でもある彭氏に、外国人の眼から見た日本の文化や経済についてのお話。さらに、中国最新事情も紹介いただき、日本と中国が友好関係を築いていくにはどうしたら良いのか、また、アジアで日本が果たしていくべき役割についてのお話。

第3回 2月22日(水)

18:30〜20:00

テーマ『日本と朝鮮半島の将来』

講師 李 鍾元 氏

(立教大学法学部教授)

アメリカの東アジア政策、アジアの地域主義、戦後日本の対アジア政策、現代韓国政治など、東アジア国際政治の専門家 李氏に、最新の朝鮮半島情勢と日本の関わりについての解説と、今後関係諸国が友好関係を築きともに発展していくために必要なことは何か、などのお話。

会場：岡山国際交流センター  
2階国際会議場(岡山駅西口から徒歩3分)定員：80名  
参加費：無料

ただし事前申し込みが必要  
主催：(財)岡山国際交流協会 共催：岡山県 JICA 中国

お申し込み・お問い合わせ：(財)岡山国際交流協会 情報班  
TEL:086-256-2914  
FAX:086-256-2489  
受付時間 9:00〜17:00  
月曜日休館(ただし月曜日が祝日の場合は翌日休館)

